






| お花の栽培シリーズ「ホトギス」  |   |                        |
|--|---|------------------------|
| 2009年10月   | 神無月(かんなづき)・神去月(かみさりつき)・時雨月(しぐれづき)・良月(りょうげつ)・小春(しょうしゅん)  | ●秋にまいた草花が育ち、根を伸ばす時期です。 |
| <p>●山では、美しい紅葉が見られ、初雪の知らせも聞かれます。</p> <p>●そろそろ防寒の準備が必要になってきます。</p> |   |                        |
| 庭木の作業  | <p>・10月は、各地で植木市が開かれる時期ですが、木の植え替え時期としては適当ではありません。常緑樹には少し遅く、落葉樹には早すぎるためです。ですが、ツツジ類やイヌツゲ、アベリアなどの株物は、厳寒期と成長期をのぞいていつでも可能です。</p> <p>・茂りすぎた大きな木では、台風前に枝を間引きして、風あたりを少なくします。春に花の咲く花木類では、花芽のついた枝をあまり切らないようにしましょう。</p> |                        |
| 草花の作業  | <p>・春咲き球根の植えつけ</p> <p>・夏咲き球根を掘りあげて、保管する。</p>  |                        |

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 今月の誕生花 | キンモクセイ、コスモス、マリーゴールド、シオン   |  |
| 今月の花   | <p>ホトギス<br/>花言葉/永遠にあなたのもの</p>   |  |
|        | <p>ホトギスは、元禄年間には庭に植えられて楽しまれていたということが、当時の園芸家が残した書物によってわかっています。「花うすむらさき、また、濃紫のかのこありて、其鳥(ホトギス)の羽を見るやうなり」と解説しています。</p> <p>鳥のホトギスの胸毛にある斑点が、この花の花びらにある斑点と似ているので、この花はホトギスと名づけられました。鳥の名前そのものがつけられている植物は、このホトギスだけです。</p> <p>ホトギスは鉢植えでも楽しむことができます。6枚の花びらはそれぞれ離れたところから出ていて、花の季節が終わると、1枚ずつハラハラと散ります。花びらにある斑点は、普通は紫色ですが、まれに白色もあります。</p> <p>夏から秋までの長い期間、ひたむきに咲き続ける様子から、『永遠にあなたのもの』という、健気な花言葉が生まれたようです。</p> |  |
|        | <p>原産地は本州～九州。ユリ科ホトギス属の耐寒性多年草。草丈は30～70cm。開花時期は8～10月。最盛期は10月。葉の形状は、2列の互生、花色は赤・ピンク、黄・オレンジ、青・紫、白。英名ジャパニーズ・トードリリー (Japanese Toadlily)。別名 油点草。漢字表記は杜鵑草です。花持ちは5日～7日程度。</p>   |  |

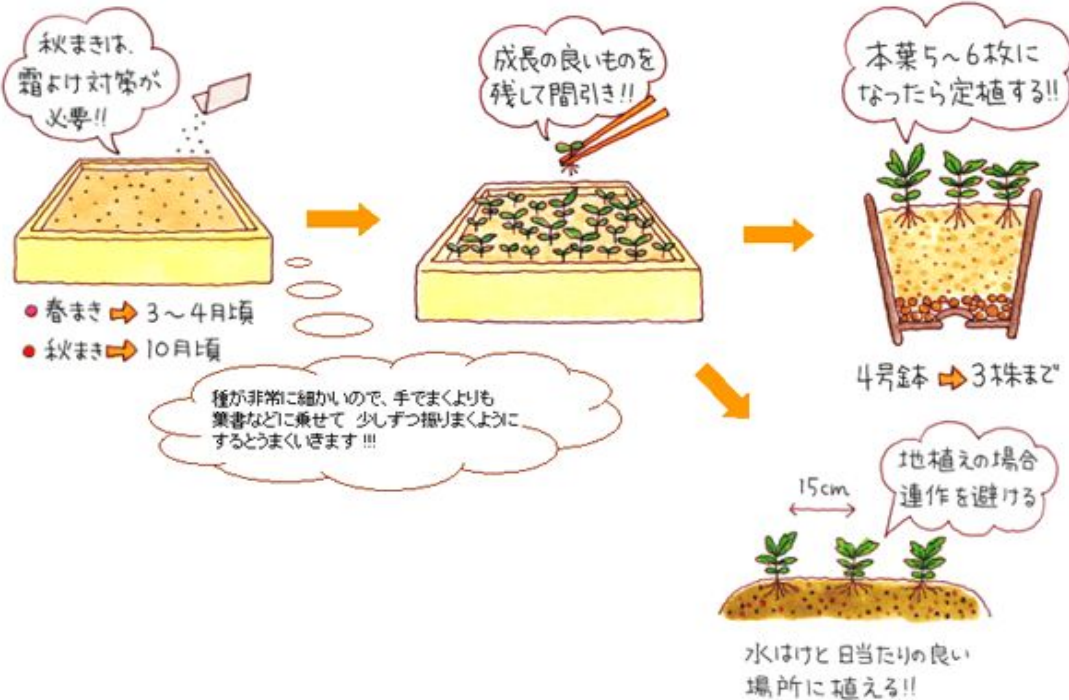


|  |  |   |   |  |
|--|--|---|---|--|
| <p>日当たり</p>  <p>日なた</p> | <p>水やり</p>  <p>水を好む</p> | <p>気温</p>  <p>15~20℃</p> | <p>草丈</p>  <p>30~100cm</p> | <p>花色</p>  |
|--|--|---|---|--|



エゾギクの名前でもよく知られています。英名で チャイナアスターといいますが、これと混同されてしまい、アスターと呼ばれますが、この植物は本来、いわゆる宿根性のアスターである シオン属ではありません。ただ、園芸上では アスターの名前が定着しています。八重咲き、一重咲き、花弁の長いタイプ、それに極小輪などと、品種改良によって いろいろなタイプがあります。夏に利用される 切り花としておなじみで、草丈もかなり高くなります。しかし、矮性種は 草丈も0cmより低いものもあり、花壇などに植えて 楽しむことができます。基本的には 種をまいて育てます。まきどきは 春か秋が適当です。春まきのほうが 育てやすく、秋まきでは、冬にフレイムのなかで霜よけの対策が必要になります。ただ、春まきの場合には夏の病害虫に対する注意が必要となります。

●種まきからの育て方












花びらを抜いて「好き」「嫌い」と占う恋占い。ドイツでは、この占いのときにこの花を使うのがならわしとなっているそうです。

ゲーテの著した戯曲「ファウスト」の中でもこの花のことを星の花と呼んで、恋占いをするシーンがあります。



## ●年間スケジュール

| 月      | 1   | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| 生育状況   | 花期   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
| 植え置き場所 | 屋外の日当たりのよい場所    |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
| 水やり    | 表土が乾いたら与える(1日1回程度)   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
| 肥料     | 元肥   生育期こま月に2~3回液肥を与える  |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
| 病気・害虫  |  苗が小さいうちは立枯れ病が発生しやすい   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
| 作業     | 種まき  種が細かいので育苗箱にまく<br>植えつけ  秋まきたときは霜対策が必要<br>植えつけ  |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |